

令和4年度 第2回市長と能ん美りカフェトーク

国際交流協会（在住外国人）との市長と能ん美りカフェトーク

日 時 令和4年7月22日（金）15時～

場 所 寺井地区公民館

参加人数 6人

1) 司会 挨拶

- ・ これまでも、市民の皆さんの意見をお聞きして市政に反映させていく場としてタウンミーティングを行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、なかなか大規模な会合というのが難しい状況が続いている。市ではそんな中でも、できるだけ市民の方の声をお聞きする場を設けたいと思い、今年度より「市長と能ん美りカフェトーク」を行っている。
- ・ 少人数ならではの雰囲気の中で、皆さんの気になることや関心のあることについて、ぜひご意見やご質問をいただければと思う。

2) 市長 挨拶

- ・ 今日のカフェトーク2回目ということで、参加いただきました国際交流協会の皆様に感謝申し上げます。
- ・ 私はこれまで14ヶ国海外に行ったことがありますが、実際に海外に住んだことがないということから、実際皆様方がどんなことを考えていて、どんなことを我々行政にしてほしいのかなというふうなことを直接お聞かせいただきたいと思う。
- ・ 市には今1,260人の外国人がいるが、感染症の影響からか、少しずつ減ってきている。ただ人口当たりの外国人が住んでらっしゃる比率というのが、石川県内19市町ある中でトップであり、外国人の方々も、我々日本人と同じように安全安心快適に暮らしていただきたいと思いますなと思い、少しだけですけれどもいろんなことをやってきた。
- ・ その一つとして3年前に国際交流協会を作らせていただいた。それから市役所の窓口外国人専用窓口というのを設け、6ヶ国語で対応できるようにしている。また引越されたときに、それぞれの母国語で見えていただけるパンフレットを作っているが、

もっと工夫してほしい、あんなことがあったらいいんじゃないかなということがあると思う。

- ・すぐにできることと、ちょっと時間がかかることがあります、なんなりとおっしゃっていただきたい。

3) 自己紹介

【参加者】

中国出身です。日本に来て31年です。5月に能美市に引っ越してきました。今は能美市で生活して自営業をしています。

【参加者】

私はベトナムから来ました。2017年に初めて能美市に引っ越してきました。今年は4年目になります。よろしくお願いします。

【参加者】

協会職員です。いつもありがとうございます。

【参加者】

私はベトナムから来ました。2005年から18年目になります。日本に来てから先端大で修士課程、博士課程が終わって、今先端大の補助研究員の仕事をしています。今家族と住んでいます。私は周りの人に能美市の良いところを紹介したいと思って、ここに住んでいる外国人がもっとよりよい生活を送れるようにサポートしていきたいと思います。よろしくお願いします。

【参加者】

こんにちは。アメリカから来ました。2004年に埼玉県にきて、それから2006年に石川に引っ越しして、2015年に能美市に引っ越ししました。

【参加者】

こんにちは。2016年に能美市に引っ越してきました。今年で6年目ですけど、この6年間で能美市の素敵なおところを見つけてきて、これから外国人が住みやすいようサポートしたいと思います。

4) カフェトーク

○病院のガイド、市役所窓口での通訳・翻訳について

【参加者】

日本の生活として一番困るのは病院。例えば簡単に専門用語がわかる、理解ができるように、病院でガイドとかあったほうがいいと思う。私はALTの中でJETプログラムの参加者ですが、その中で石川県のいい医療とかクリニックをJET参加者の皆さんに聞き、JETプログラム参加者さんのためにガイドを作成しました。能美市民用にそういう医療ガイドや、こういう問題があったら、こういうところに行けばいいよ、ここがおすすめ、などの情報がわかるガイドがあった方がいいと思う。もし日本人仲間がいなかった場合や日本語がわからなくても、簡単にそういう情報が手に入るように。

【井出市長】

本当にそうです。今市役所ではタブレットを用意していて、来庁者が英語でしてほしいことをしゃべると通訳して文字と日本語の音声が出る。外国人の方と市の職員が同時に見て確認をして手続きを進める、あるいは外部の専門スタッフと同時通訳できる仕組みも作っている。だからお医者さんにも、タブレットなどを持ってもらう方法もあるが、日本人ほど、なんていうかその痛みの伝え方が細かい人種もないんじゃないと言われて、なんかズキンズキン痛いってということだとか、何かキリキリ痛いとか英語でもそんなのってあるんですか。

【参加者】

ありますけど、ちょっと言い方が違いますね。あと英語は国による。アメリカでしたらそのままクリニックに行くんじゃないかと、まず病院に行きます。病院に行ったらクリニックを勧められます。最初に専門医のところに行きましょうっていう考えがあまりない。簡単でも、日本の医療はこんな感じだよっていう説明などがあつたらいい。みんなの国が違うと思うので。

【井出市長】

国際交流協会では、例えば病院はここがおすすめとか、こうだったらこことかあるんですか。

【参加者】

個人的に聞かれたときに答えることはあっても、そういうものを作っているわけではない。翻訳機はあっても、例えば妊娠出産のときは、なかなか翻訳機では賄えない。複雑な

相談、デリケートな相談を多分されると思うし、機械だけではなかなか答えられない。お子さんを抱えられているお母さんの悩みはいろんな悩みがあるし、細かいし、複雑だしデリケートなので、それに本当に答える気であれば、一番お金かかるけど、通訳者などの人を置いて、日本人と同じように、やりとりができて納得できるようにしてあげないと、駄目だと思う。やっぱり人がいないと心配です。

【井出市長】

市役所に置いているタブレット、例えば市の仕事っていっぱいあるわけですよ。税金のこと、福祉のこと、いろんな手続きのこと。全てのことをわかってる職員っていないんですよ。そうすると、言語がスペシャリストになるだけじゃなくて、そういったことを対応するための知識も持ってなくちゃならないが、そんな職員はなかなか育てられないからこのタブレットを介して言語だけをスムーズにやれるようにしようこのタブレットを設けてある。今のご要望でもその言語を通訳する人だけであれば置けると思うんですけど、いろんな相談を受けたときに全部答えられる人まで養成できるかという、なかなか難しい。だからそのタブレットを使ってるんですね。

【参加者】

とりあえず今はタブレットが窓口においてあっていいと思う。だけど、例えばベトナムの方が〇〇課に行きますっていったときに、ベトナムの方が寄り添って行ってくれると安心。中国の方で（日本語が）全くわからない人が、今から市役所に行くときに、中国人の方がついて行ってくれると安心です。日本人なら大丈夫なことでも、外国人は市役所にきているだけでも不安。だからそこを回収してあげて市役所が安心できる場所って思ってくれたら素敵なんですね。

○自然災害などの情報伝達について

【参加者】

自然災害の避難所の問題です。

【井出市長】

防災行政無線ってつけてあります？市からいろんな情報が流れるラジオ。

【参加者】

あります。

【井出市長】

放送ってなにを言っているかわかりますか？

【参加者】

わかりにくい。

【参加者】

どうしても母国語じゃないとスピーカーとかラジオとか電話とか、離れるところからくるものだと、口が見えないとすごくわかりにくくなります。自分の経験ですが。

【井出市長】

その情報が今後音声だけでなく文字情報、LINEなどで流すようにします。ただ、まさに母国語をどうしようかなってというハードルがあるんで、そこはちょっと考えていかなきゃいけないですね。

【参加者】

またパンフレットとかの話になってしまいますけど、ローマ字やひらがなでこういう言葉を聞いたらこういう意味、とか津波などの災害用語とか絶対に分からなきゃいけない言葉だけでも、この言葉を聞いたらこうだよ、という感じであるといい。

【参加者】

私の小松市の知り合いで避難のLINEグループがありまして、緊急のお知らせがあれば同時に日本語とベトナム語のお知らせがみんな届いています。そういうことがあると本当に助かると思います。宮竹小学校は外国人の子どもが多いですが、ほとんどの保護者は日本語ができないので、簡単でも日本語の下に母語でも英語書いてあると助かります。基本的にはベトナム人の留学生は簡単な日本語はわかります。いろいろな学生やベトナム人の学生さん、先端大の人に聞くと、能美市に住んでいてパンフレットなどをたくさんいただきましたが、スマホのアプリとかウェブサイトとか能美市の基本的な情報（税金や病院、学校、緊急の時など）は日本語、英語、ベトナム語などいろいろな言語でほしい。そういったことをみんな伝えてほしいと思う。

【井出市長】

文字放送のことはさっき言ったようにいろんな情報をLINEで皆さん方にお伝えするように準備しています。ただ、それが全部6か国語までひろげていくかというのは考えが及んでいなくて。おそらく英語が一番最初になって、そのあと能美市に住んでいる人が多いベトナム、中国と順番で少しずつ翻訳したページで皆さんのところに流すように準備してい

かなければならないなど。

【参加者】

命に係わることは早くしてほしい。

【井出市長】

ワクチン接種券をみなさんに配布するときに、国際交流協会さんからぜひ英語も併記してくださいといわれて、その方法まで教えてもらって対応しました。

○地域との交流の場について

【参加者】

私は困ったことがあった場合は、近所の人に聞きます。それが一番早いです。何より周りの日本人とコミュニケーションをとるのが一番大切だと思います。どうすれば外国人の私たちも仲間に入れてくれるのか、力を入れてもらいたいことです。例えばいろんなイベントがあるが、近所の人参加しない、知らないという。周りの日本人も参加するようにしたらもっと住みやすい環境になるかと思います。能美市は自然が素晴らしいとことがあるが、外国人はそういうところを知らない。外食というと金沢とかほかの市に行っている。金沢の人からも能美市のおいしいものを食べに来たらいいなと思います。能美市はお店とかまだ少ないと思いますから、店を増やしたらどうかと思います。能美市でベトナムのカフェとか料理とか開いたら皆さんどう思いますか。海外に行くチャンスがない方はそこで交流して、お年寄りも家に一人じゃなくて、そっちに足を運んで、そこで交流できたらいいな。若い人は世界の人とかと交流できたらいいと思います。そういうことで私は能美市でベトナムの料理のお店を開きたい。

【井出市長】

そういう交流する場所は必要ですね。ただ感染症が広がっているということで人が集まりにくい。また日本人も昔ほど集まらないという習慣があって、お祭りをやっても運動会をやっても昔はたくさんきたんですけど、最近はだんだんそういった人数も減っていて、外国人だけでなく日本人も今すごく集まらなくなっている時代になってきていて、本当に人を集めるということの難しさがあります。

例えばこんなものがほしいんだけどなかなか手に入らないっていうものありますか？今インターネットを使っていろんなものが手に入る時代ですけど、なかなかこんなものが手に入らない、こんなものが手に入るように便利になったらいいなというのはありますか。大

体手に入りますか？

【参加者】

最近ベトナムの食材の店ができて。小松駅の手前に1軒と松任駅の近くに1軒、金沢にもあります。

【井出市長】

そこではベトナムで買っていたものと同じものが入るんですか？

【参加者】

はい。高いですけど。

【井出市長】

それは仕方ないよね。

【参加者】

私も先ほどの方のように同じ夢があります。今の人って食べ物で集まるのって難しい。空間を交流の場として人を呼ぶのが魅力があると思います。例えばターゲットを決める。人の役に立つ交流の場をして、飲食をだすといいかな。

【参加者】

人が集まりたくなる空間が大事。机が並んでいるだけじゃ人は集まらない。

【参加者】

空間を重視して、ここにきたら朝から晩までいて、家に帰りたくなくなるような空間。いろんなターゲットがある。食べ物じゃなくて、人の心をつかむものが今の時代必要。食べ物より心のほうが大事だと思う。それを重視したい。

【井出市長】

居場所づくりですね。

【参加者】

その国の人だけが集まって悩みとかを話すのもいいけれど、本当は地域の人とつながっていくというのが、あとあとすごく大事。助けてもらう、安心して住んでいけるようになる、それを狙って仕事をしているのが国際交流協会。つなぐってということ。災害のことにしても、いざというときはパニックになってわからないかもしれない。そんなときに隣の人に「助けて」って言えばなんとかなる。そういうことをつなぎ役になるようなことを私たちが企画して行って、それを市全体でやっていけるようなことを目指さなきゃなど。地域に出向いて行って、地域の中の公民館で交流して行って。

【井出市長】

それは外国人に限った話ではなくて、日本人全体が悩んでいることで。まず互助をどうしていくか。特に外国人の方は難しいと思うので、それを考えていかなければいけないですね。

○公共交通（のみバス）などの移動手段について

【井出市長】

あと、移動手段。みなさん車の運転はできますか？移動手段は皆さん困らない？

【参加者】

運転できます。ただ、ほかの技能実習生に聞くと、バスは待ち時間が長い、金沢へ行くのに電車が30分に1本は少ないとの声がある。

【井出市長】

金沢に行くのに、3分に1本走らせるのは難しいかな。

のみバスをもっとみなさんに活用してもらうためには、どんなルート、どんな停留所、どんなものにしたら皆さんに活用してもらえるかとい課題がある。今のみバスのダイヤとルートを見直ししている最中で、外国の人が特に移動手段が不便だろうなということで、こんなルートだったら乗るなどか、あれば教えてほしいです。

【参加者】

スーパー、ドラッグストアは先端大から1日2本くらいしかない。鶴来までのJAISTシャトルバスがあるが、鶴来のスーパーは高いし、種類も少ない。辰口にはスーパー、ドラッグストア、100円ショップや本屋などが集まっている場所があるので、週末はそこに行きたい。

【井出市長】

先端大から連携バスは1時間1本あってあるスーパーには停まる。

【参加者】

そのスーパーから行きたいスーパーまで歩くのは遠い。行きたい場所は金曜日が安いから週末に向けて買いに行きたい。金曜日はのみバスをよく使う。買い物の後はバスの待ち時間が長い。金曜日はバス増えてほしい。

【参加者】

JAISTから小松のイオンモールまでバスが出てるので、そっちに行ってしまう。能美

市じゃなくて。

【井出市長】

先端大の学生さんは能美市のどこに行きたいの？

【参加者】

スーパー、ドラッグストア、郵便局。小松駅までのバスがあるので、そこから歩いてイオンモールに行く。能美市では買い物できない。

【参加者】

スーパーまでのバスが出れば、小松に流れない。

【参加者】

学生さんはどこが安いかわか調べて行く。

【参加者】

のみバス1回だけ乗りました。QRコードがあって。のみバスは時間があわないときがあって。車があるので。あと、ともだちが能美市に来てほしい時に、自転車とかなないので回れない。レンタサイクルが能美市にあったらいいな。観光用の。

【井出市長】

あるんです。電動アシスト付き自転車が4台、2時間フリーで。

【参加者】

どこにあるんですか。ただ、4台は足りない。

【井出市長】

能美ふるさとミュージアムにあります。自信をもって設置したんだけど、ほとんど使われていない。宣伝不足かな。

【参加者】

電車で来ると、能美ふるさとミュージアムまで行けない。

【井出市長】

観光ルートがあるので、駅から15分で行きます。

移動手段、やっぱり外国人の方は苦労するだろうなど。年月がたてば車の免許も取れるし、道も覚えるから比較的行動も楽になるんだろうと思いますけれど、能美市に来てすぐは公共交通使うんだよね。そこも何とかしたいなと思います。のみバスGOというアプリがあって、それを入れていただくと、自分が乗りたいバスのダイヤやルートが全部わかるようになってくるんです。乗りたいバスが今どこを走っているか、あと何分で来るか、乗りたい

バスがどれだけ混雑しているか全部わかる。しかも英語バージョンもあります。
ごみもアプリがあって、分かるようになってるんですよ、実は。あなたの近くのごみステーションは明日粗大ゴミですよ、ということを教えてくれるんです。入れていただければ。やっぱり宣伝不足が課題。

○「広報のみ」について

【参加者】

技能実習生とかにどうやって情報を届けるか。

【参加者】

広報は宣伝になる。

【井出市長】

広報読んでますか？広報にのみ応援特典券って行って能美市内で使える券入れていたんですが、使いましたか？

【参加者】

使いました。

【参加者】

ベトナムの人にも教えます。

【井出市長】

もっと多くの人に楽しんで読んでもらえるように広報のリニューアルを進めている。外国人の方にも今月の広報どんなかな、来月待ち遠しいと思ってもらえるように考えているが、どんな情報が載っていると見たいなと思う？

【参加者】

以前、健康教室、トレーニングコースに参加していました。そこでは日本人と会う機会があります。年2回ほどですけど、そういったところを強く出したら外国人も入っていきませんか。

【参加者】

能美市に住んでいる外国人の紹介。例えば今月はAさんが能美市はこんなに住みやすい、楽しいって紹介する。日本語がわからなくても、外国人が住んでこんなに楽しいんだってひきつけられる。こんな外国人がいるって。

【参加者】

いろいろな人を取材してALTだけじゃなくて、技能実習生とか。何をしているかとか能美市の楽しみとか。

【井出市長】

毎月皆さんみたいな方に出てもらって、能美市に住んで感じていることとか悩みを投稿するっていうのを連載するのもいいんですか？

【参加者】

いいですね。能美市の楽しみは何ですか、とかいっぱい話すと能美市はこんなこともあるってわかる。それは日本人も同じだと思う。若者に見てもらうには楽しい写真が載っているといい。

【参加者】

ニュースで見たんですけど、能美市は外国人が一番多くて住みやすい。能美市をアピールするページがあると日本人もこんなことがあるってわかる。

日本人はいいところいっぱいあるので、外国人がほめることによって日本人も私たちに興味を持ってくれると思う。

【参加者】

私が能美市に来てまず入ったのが商工会。知り合いが誰もいないから。とにかくここで事業をしたいから、助けてって。いいとことをいっぱい教えてくれるんですよ。

【井出市長】

広報に出ている記事を映像でも配信しようかなと。そういったいろんな多重化を考えている。外国人から見た能美市の魅力だとか、困っているところとかですね。

【参加者】

それは外国人だけでなく能美市の人にとってもいいと思います。外国人が一番多い町なので、能美市の人とつながらないと。

【参加者】

能美市の広報はすごく読みやすいけど、日本人が読むようにできている。外国人も同じ市民なのに読めない、情報がもらえない。

5) 閉会 (市長 挨拶)

・呼んでいただければいつでも来ます。どうもありがとうございました。